

住友ファーマ

国内第I/II相を開始

iPS網膜色素上皮細胞

住友ファーマは、京都府で発生した「iPS細胞」を用いたiPS網膜色素上皮細胞の国内第I/II相試験を開始したと発表...

住友ファーマは、京都府で発生した「iPS細胞」を用いたiPS網膜色素上皮細胞の国内第I/II相試験を開始したと発表...

海外売上伸長で増収

23年12月期中間決算 協和キリン 内売上は減少したものの、グローバル戦略品の海外での伸長により、売上高は前年同期比7.5%増の193億2千万円...

鳥居薬品

主力品好調も営業減益

23年12月期中間決算 鳥居薬品の2023年12月期中間決算は、アドビのK陽毒剤「コレクテム」の増収が、国内の減収を吸収した...

国内では、「腎性貧血治療薬」のアレルゲン免疫療法薬「スチキアス」が、北米を中心に36%に伸び、北米を中心にFGF23関連疾患治療薬「クリンキナー」は25.3%増の61.9億円、抗糖尿病「ボテリジオ」も21.0%増の1.55億円、パキンソン病治療薬「ノウリアスト」も36.8%増の35億円と、国際戦略品30%増の4.26億円、コア営業利益は1.5%増の880億円を算出した...

エイツーヘルスケアは設立20周年を迎えた。CRO業務にどう貢献し、事業をどう展開していくのか。ビジネス・ディベロップメント本部の中村喜満本部長に聞いた。

ビジネス・ディベロップメント本部

中村喜満本部長に聞く

20年前、EDCCの黎明期に自社開発EDC「ARCS」をリリースしました。再生医療に取り組んだのは08年です。09年には、オンコロジー専門部隊を立ち上げました。初のeSourceDDC試験(原データを直接EDCに記録する手法を用いた試験は14年、リスクヘアストモニタリング実装は15年です。16年には国内CRO初の電子データ申請、18年にはリアルワールドエビデンスの導入...

4月に27年度までの計画を策定しました。社長の神谷は文化、成長、改革を重視する基本方針の「中」でも改革に注力し、顧客、社員、社会から選ばれる優れたCROになることを宣言しています。そのために、大切な「人財」が今以上に高度なExpert集団になることを目指しており、臨床試験の効率化を促進するOperational Expertise、専門知識を強化するTherapeutic Expertiseの両面が必要とされています。

認定制度導入し専門家育成

エイツーヘルスケア 選ばれるCROへ



20年前、EDCCの黎明期に自社開発EDC「ARCS」をリリースしました。再生医療に取り組んだのは08年です。09年には、オンコロジー専門部隊を立ち上げました。初のeSourceDDC試験(原データを直接EDCに記録する手法を用いた試験は14年、リスクヘアストモニタリング実装は15年です。16年には国内CRO初の電子データ申請、18年にはリアルワールドエビデンスの導入...

26年の義務化を見据え、国内CROとして初めてPMDAへ申請電子データを含むeC化を促進するOperational Expertise、専門知識を強化するTherapeutic Expertiseの両面が必要とされています。

ひと知れず、ひとのため。

私たちがその薬、その医療機器に関わったことを患者さまは知らない。それでも、多くの命に希望をもたらすこの仕事に誇りを持っている。



オンコロジー 中枢神経系 皮膚科 再生医療 臨床薬理 医療機器 グローバルスタディ

A2 Healthcare × Expert

The Life First Company

エイツーヘルスケアでは7つのExpert制度により、専門家の育成に取り組んでいます

採用サイトはこちら



TOCHU GROUP 私たちは伊藤忠グループの一員です。

エイツーヘルスケア株式会社 〒112-0002 東京都文京区小石川1-4-1 住友不動産後楽園ビル